

編集後記

◇『英學史論叢』第 16 号をお届けします。本号には、査読を経た研究論考 3 編、寄稿による英学史随想、会員の著書・訳書に対する書評を掲載しています。執筆者、査読者の皆様に、心より感謝の意を表したいと思えます。

◇今年度より高等学校の学習指導要領が施行され、新しい教科書のもと、各地で「英語の授業は、英語で」行われ始めています。時期を同じくして「大学入試に TOEFL を」という提言がなされ、議論が沸き起こっています。やがて平成 25 年が英学史・英語教育史の一コマとして語られるようになる頃、この年はどう評されるでしょうか。

◇英語を学び、教える上で、良いものは何でも取り入れたい、という思いを持っています。今は無理かもしれない高い目標でも、「ああ、いつか」と夢見ること、励みになることも多いものです。ところが昨今の教育現場では、目標とされる数値（たとえば試験のスコア）が掲げられ、そこに到達できる学習者の数（たとえば〇〇点を〇〇パーセントが達成）というところにまで「数値目標」が及びます。そしてそれは、「ああ、いつか」ではなく、目標とする期間内に達成せよ、という期間限定の「目に見える成果」として求められるのです。ああ。でもそんなことに負けない、くじけない智慧を、私は歴史に学びたいと思えます。

◇毎年、支部総会時に『英學史論叢』を会員の皆様へお届けできるのは、ホワイト印刷(株)の皆様のお陰です。今年度も大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

(T.U.)

英學史論叢 第 16 号 (通巻 36 号) (平成 25 年 5 月 25 日発行)
編集・発行者：日本英学史学会中国・四国支部 (代表：竹中龍範)
発行所：県立広島大学 馬本研究室内
日本英学史学会中国・四国支部事務局
〒727-0023 広島県庄原市七塚町 562 番地
電話・ファックス： (0824) 74 - 1725 (直通)
e-mail: eigaku@tom.edisc.jp
website: <http://tom.edisc.jp/eigaku/>